

東北の学びを次につなぐ

## Fw: 東北 Fan Meeting Vol.12



関連地域  
福島県  
千葉県

# 道の駅の挑戦！ 村や町の新たな拠点づくりとは

ハバネロが特産品!?  
廃校が宿泊施設!?

テーマ 地域づくり・コミュニティ形成

#道の駅ひらた #保田小学校 #平田村 #鋸南町 #ハバネロ #学びの宿



Photo by Benjamin Beech

参加費  
無料

定員  
50名

主催  
復興庁

オンライン  
で開催!

日時

2020

11/19(木)

19:00~21:00

場所

オンライン開催

※インターネット会議サービス  
「Zoomウェビナー」に接続

(後日、申込された方に接続先の情報をメールいたします。)

参加申込

下記URLよりお申し込みください。

[https://form.run/@fm-zoom-1604879550/?utm\\_source=web&utm\\_medium=flier&utm\\_campaign=vol12](https://form.run/@fm-zoom-1604879550/?utm_source=web&utm_medium=flier&utm_campaign=vol12)



◆ Fw:東北 ホームページ

[https://www.fwthoku.com/?utm\\_source=web&utm\\_medium=flier&utm\\_campaign=vol12](https://www.fwthoku.com/?utm_source=web&utm_medium=flier&utm_campaign=vol12)



◆ フェイスブックページ

<https://www.facebook.com/fwthoku/>



## 道の駅の挑戦！ 村や町の新たな拠点づくりとは

ハバネロが特産品!? 廃校が宿泊施設!?

日時 2020.11.19(木) 19:00~21:00 (開場 18:30) 場所 オンライン開催

## 企画趣旨

福島県石川郡平田村にある「しばさくらの里 道の駅ひらた」では、東日本大震災ののち、地域で新たに生産がはじまったハバネロの商品化、販路拡大をはじめ、多数のユニークな取組を持続的に繰り返し続けています。プロダクトアウトから進む地域ならではのプロセスで、商品づくりの道筋を描く苦労や工夫はどのようなところにあるのでしょうか。また、その中で、人々の交流や活力はどのように引き出され、活かされているのでしょうか。

メインゲストに道の駅ひらたの駅長 高野哲也さんをゲストに迎え、人口5,864人(令和2年8月末日時点)の中山間地で、高齢化が進む農家の人たちの活力も引き出しながら、地域の付加価値を生み出す拠点として機能している背景を探ります。

また、他地域からは、千葉県安房郡鋸南町の「都市交流施設・道の駅 保田小学校」駅長兼校長の大塚克也さんを迎えます。内房の南部にある総人口7,443人(令和2年11月1日時点)の鋸南町で、廃校となった保田小学校は、町と有識者・町民等で発足された検討委員会を経て都市交流施設として生まれ変わりました。地域内外から人が集まり、宿泊も含めた様々な活動を生み出せる拠点となったほか、今年の台風で大きな被害を受けた際も、地域の人々の拠り所となりました。

それぞれの地域に活動及び交流の拠点があることで、経済活動も含めた地域内の人々のエネルギーと地域外との関わり合いが高まっていく。二つの地域の挑戦に、参加者のみなさんも交え、さらなるアイデアやアクションを生み出すためのディスカッションを行います。

## 登壇者 ※敬称略

◆ 高野 哲也 (道の駅ひらた 駅長)

[他地域登壇者]

◆ 大塚 克也 (都市交流施設・道の駅 保田小学校 駅長兼校長) (千葉県)



高野 氏



大塚 氏

## プログラム(予定)

18:30	開場 (接続開始)
19:00	開会メッセージ／趣旨説明／ 参加者意識調査／アイデア募集
19:15	<b>インプットトーク</b> 道の駅ひらた 駅長 高野 哲也 氏
19:35	<b>インプットトーク</b> 都市交流施設・道の駅 保田小学校 駅長兼校長 大塚 克也 氏
19:55	パネルディスカッションなど
20:20	アンケート記入／Fw:東北活動紹介
20:25	閉会メッセージ
20:30	オンライン上での交流タイム(～21:00)

## こんな方にオススメ！

- ・ 地場産品の付加価値づくりに関心のある方
- ・ 地域内外の人たちが集まる拠点づくり・コミュニティづくりに関わりたい方
- ・ 中山間地など人口が少ない地域で交流を活性化させたい方
- ・ 道の駅や廃校の活用に関わりたい方
- ・ その他、本イベントに関心のある方 等

## Fw:東北とは

「Fw:東北」は「進む」の意味を「フォワード」に置き換えた東北における共創によるプロジェクト全体の愛称です。被災地復興及び地域課題の解決に取り組んでいるNPO、企業、自治体等が、自らの取組を加速・発展させるため、共創の手法を通じて、新たなパートナーとのつながりを創出し、地域社会の課題解決を目指していきます。

## Fw:東北 Fan Meetingとは

「Fw:東北 Fan Meeting」では、東北被災地における「新しい東北」の創造に向けた取組やそれらに取り組む人々にフォーカスし、認知向上や共創の輪の拡大及び東北の防災・減災、復興の経験値の共有を目指し、復興庁が主催する各種イベントを全国各地で多敷展開(年間15回程度)いたします。